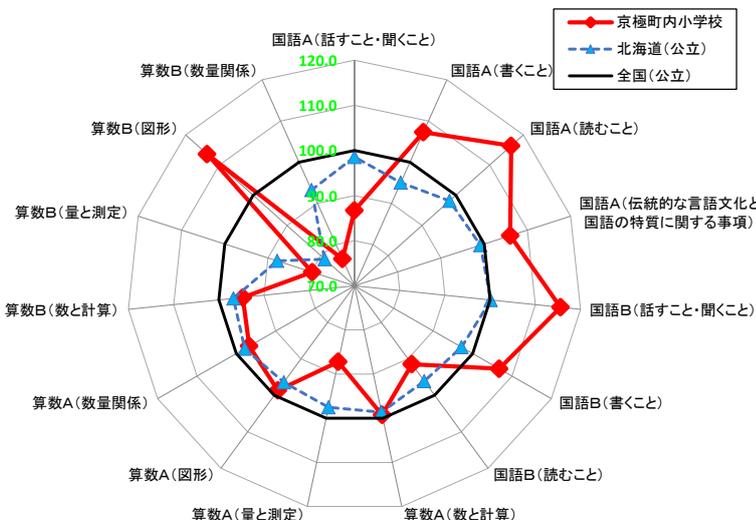


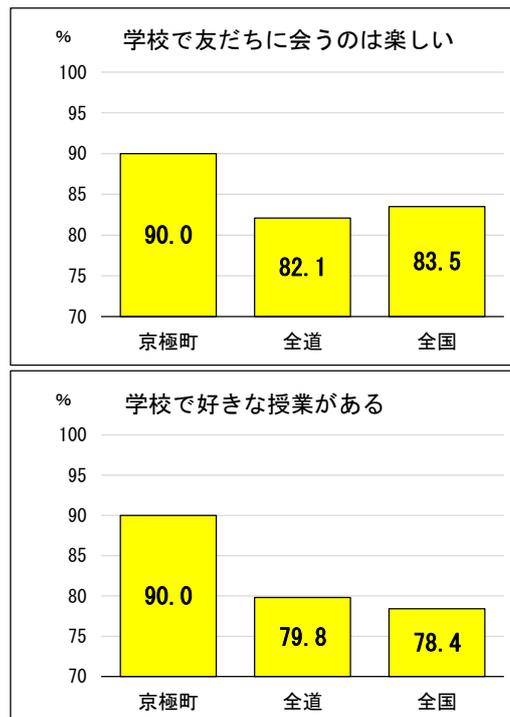
■京極町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、児童数:20人)

【教科全体の状況】

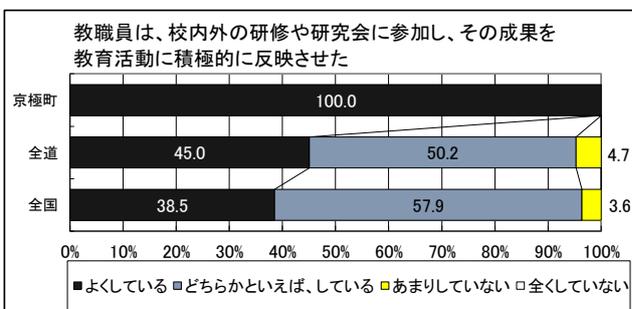
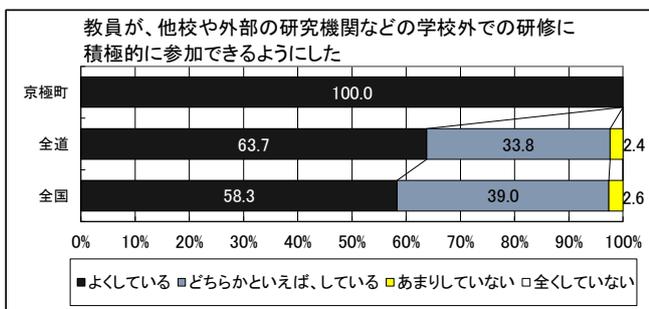
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【児童質問紙】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語Aでは、「書くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、Bでは、「話すこと・聞くこと」「書くこと」で全国を上回っている。 ○ 算数Bでは、「図形」で全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教職員が、他校や外部機関などの学校外での研修に積極的に参加したり、その成果を教育活動に反映させたりした結果、授業改善が図られ、国語A、B及び算数Bの一部の領域で全国を上回ったと考えられる。
児童質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「学校で友達に会うのは楽しい」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 ○ 「学校で好きな授業がある」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ T・T指導の充実や反復練習をする授業をよく行った結果、基礎的・基本的な学習内容の定着が図られたと考えられる。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教員が、他校や外部の研究機関などの学校外での研修に積極的に参加できるようにした。 ○ 教職員は、校内外の研修や研究会に参加し、その成果を教育活動に積極的に反映させた。 	

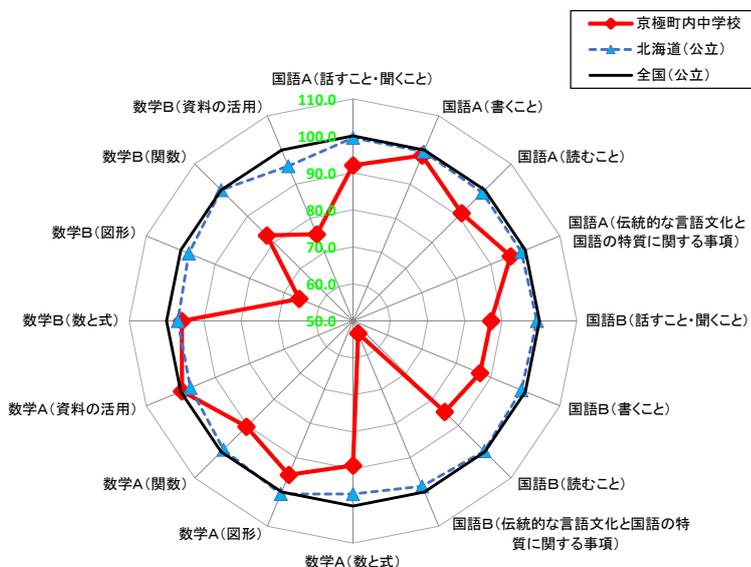
【京極町の学力向上策】

- ◎ 京極町内小・中学校2校が「共通・一貫・徹底・継続」して取り組む「学習規律」の指導の充実
- ◎ 家庭学習の手引「きょうごくのこども」等による家庭学習習慣の定着、生活習慣の改善を図る取組の充実
- ◎ 京極町小中連携協議会の取組による9年間の連続性を重視した授業改善の推進

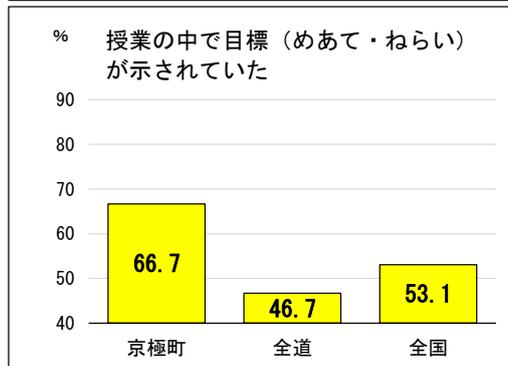
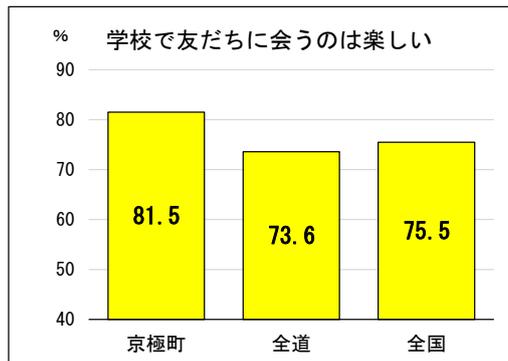
■京極町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、生徒数:27人)

【教科全体の状況】

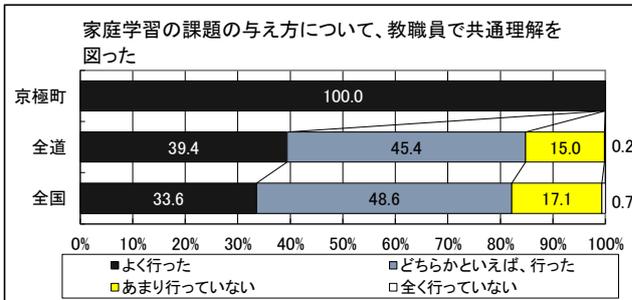
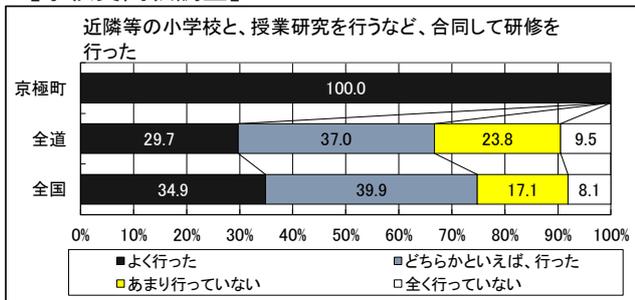
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語Aでは、「書くこと」で全国に最も近くなっている。 ○ 数学Aでは、「資料の活用」、Bでは、「数と式」で全国に最も近くなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 授業の中で目標(めあて・ねらい)を示す活動を位置付けた結果、国語A、数学Aの一部の設問において、全国及び全道を上回るなど、基礎的・基本的な学習内容の定着が図られてきていると考えられる。
生徒質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「学校で友だちに会うのは楽しい」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 ○ 「授業の中で目標(めあて・ねらい)が示されていた」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 授業の学習過程について、全校が一体となった取組や小・中学校が連携した取組を充実させた結果、学力向上につながったと考えられる。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 近隣等の小学校と、授業研究を行うなど、合同して研修をよく行った。 ○ 家庭学習の課題の与え方について、教職員で共通理解を図った。 	

【京極町の学力向上策】

- ◎ 京極町内小・中学校2校が「共通・一貫・徹底・継続」して取り組む「学習規律」の指導の充実
- ◎ 家庭学習の手引「きょうごくのこども」等による家庭学習習慣の定着、生活習慣の改善を図る取組の充実
- ◎ 京極町小中連携協議会の取組による9年間の連続性を重視した授業改善の推進